

R. 3. 5. 9

日本の国会は採り上げる議題の優先順位が正反対になつています。優先順位が分かうないのではなく、充分知り尽くしていながらやっているので、

今採り上げて延々と議論をしてゐることは、いずれも国民にとつてどうでもいゝことばかりです。

どうでもいゝことならまだいいのですが、衝き方改革のように人の心を破壊し日本の伝統文化を崩壊させる悪法はすぐに可決して実施します。

今国会で第一の順位で採り上げるべき議題は、憲法改正である筈です。

この最重要課題を放置して取りつき易い事から議論をしまつては、何も解決できないのです。身体にたとえれば、脳や心臓の重病で一死に類する人に、サプリメントを飲ませているようなものです。

先便でお伝えした中桐雅夫の  
詩「しあわせの人」に

「お互い自分のことは棚にあげて  
悪いのはいつも他人ということですか  
とあり、国会における立憲民主党  
の次をそのままだ現わしています。  
旧民主党時代の自分達の大失政  
はいつも棚にあげて、自民党への  
改組手をすすめるばかりです。

自分の大失政を反省する姿は  
いまだかつて一度も見たことがあり  
ません。

維新の党の馬場幹事長が  
立民党は日本に無くてもいい  
政党だと断言しました。

本当にその通りだと思えます。  
中桐雅夫は現代社会をよく見て  
詩をもって表現しています。

有権者は過去のしがらみから  
脱して正しい眼で人を選んで  
欲しいものです。

鍵山秀三郎 拝